

自社の技術を世界に広める。 フランスはグローバルへの第一歩となるだろうか。

「フランスの2社を買収し事業拡大させてきたことで、
グループ全体の売上も伸長しています。」

株式会社堀場製作所 代表取締役社長 堀場 厚



2005年第2回「日仏投資賞」授与式での堀場 厚社長 (2005年11月28日)

1953年創立、計測器業界のリーダーとして国内5社、海外37社のグループ企業を有し、自動車エンジンの排ガス計測システムでは世界シェア80%を誇る。フランスは海外における最重要拠点で、1982年に販売サービス拠点となる現地法人HORIBA FRANCEを設立後、1996年に欧州のトップ血液検査装置メーカー・ABX社を、1997年に光学分析機器の世界トップメーカー・JOBIN YVON(ジョバン・イヴォン)社を買収。2005年対仏投資大賞(技術分野)受賞。

御社のフランス進出にいたる経緯について教えてください。

計測器の市場規模から見て、我々の優秀な人材や開発投資を日本だけでは回収できない、ということから必然的に海外に出

株式会社堀場製作所のフランスにおける実績

- 自動車開発用、環境計測用分析機器などの販売サービス拠点としてHORIBA FRANCE SARLを1982年に設立。
- 1996年、血液検査装置メーカー ABX社、1997年、光学分析機器メーカー JOBIN YVON社を買収。

てグローバルに展開してきました。企業規模が小さい時から海外に進出したことで、結果的にグローバル化の波の中でうまく時流に乗ることができ、現在世界一のシェアを持つデ

ファクトスタンダードを担う製品が多くあります。

現在のオペレーションで最も重要な拠点の1つがやはりヨーロッパということになります。その流れの中で、1996年と1997年にそれぞれ、ABXとJOBIN YVONというフランスの会社2社を買収しました。

フランスでの売上はいかがですか？

ABX社は、この10年で売上を3倍にしました。一時期赤字に陥りましたが、結果的に我々企業にとっての大きな牽引力になっています。JOBIN YVON社も、この10年で7、8割売上を伸ばしています。

HORIBAグループ全体の売上で見ても、1995年、堀場がこのフランスの2社を買収する前の売上は406億円でしたが、買収後に売上は伸び1998年に675億円、2005年には1000億を超えました。同時に円・ユーロ・ドルの売上バランスも良くなり、うまく為替リスクも回避できるようになりました。

御社の海外での事業を どうぞ覧になっていますか？

当社の4事業のうち、自動車ではドイツ、分析と医用ではフランス、半導体ではアメリカなど、様々な国のマネジメントメンバーを登用することで、グローバル化の中で日本人のマネジメントだけでは対応できないものを補完するとともに、海外の各大学・研究機関と我々の現地の会社との共同開発が、ひとつの大きな付加価値になっています。

また、グローバル展開を見越して、フランスをはじめ、世界各国の文化やビジネススタイルに適応できる人材養成に努めるとともに、Open&Fairな評価をすることによって、海外の従業員も非常に高いロイヤリティを持つにいたっています。

フランスへのビジネス投資は、いま絶好のタイミングです。
お役に立つ最新情報をホームページで発見してください。

www.investinfrance.org/Japan/

在日フランス大使館 対仏投資庁 日本事務所

〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39 MTビル 12F

Tel: 03-5733-8200 Fax: 03-5733-8201